

今年は20周年

# ふるさと の田んぼと水 子ども絵画展2019作品募集



応募資格 小学生以下 応募締切 9月11日(水)必着



新発見!  
ぼくのわたしのふるさと

20周年 絵画展のポイント

- 作品展と授賞式を東京都美術館で開催します。
- 優秀な作品(入賞・地域団体賞・入選)を展示し、入賞者と保護者1名を授賞式にご招待します。
- 地域を象徴する農村風景などを描いた絵画を、絵の優劣に関わらず、展示会場の許容スペース内で展示します。
- 優秀な作品は作品集に収録し、全国の小学校等に配布します。

みんなこんな想いで  
描いたよ(昨年度)

(青森県4年生)  
田んぼをよく見る人も、あまり見ない人もいると思うけれど、田んぼにはいろいろなお努力が積みかさなっていて、きれいな緑になっているということです。

(鹿児島県5年生)  
一生懸命田植えを行う様子を多色の版画で表現しました。

審査員

アドバイザー

協賛企業 (昨年度実績)

眞室 佳武(東京都美術館長)、浅野 康則(画家)  
布井 剛(画家)、岸 ユキ(女優) ほか

伊能 洋(画家)

- (株) ECC ●(株) イライ ●大塚ホールディングス(株) ●(株) クボタ ●(株) 熊谷組
- (株) 角谷文治郎商店 ●積水化学工業(株) ●全国米穀販売事業共済協同組合 ●(株) トイカード
- ハウス食品グループ本社(株) ●不二家ファミリー文化研究所 ●前田建設工業(株)
- (株) 明治 ●ヤンマー(株) (順不同)
- 井関農機(株) ●(株) サクラクレーパス

目をこらして見てみると、新たな発見が必ずある。そのことを、子供たちの想像力豊かな絵たちが教えてくれているようでした。また、家族のつながりや地域の行事を描いた作品も審査員の関心を引きつけました。近年、日本各地で異常気象や大規模な自然災害が頻発している中で、家族という何よりも大切な存在に気づかされ、地域社会のあり方を考えさせられる機会が増えているからかもしれません。先入観や偏見のない子どもならではの目線で描かれるこうした情景は、われわれ大人の心にも深く響きました。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.inakajin.or.jp> 全国水土里ネット